

南海トラフ地震臨時情報の発表・大地震発生時

及び弾道ミサイル発射等に対する対応について

1 南海トラフ地震臨時情報が発表時

状況	登校中・下校中	在校中	校外活動時
調査中	通常通り	通常通り	通常通り
巨大地震注意	通常通り	通常通り	通常通り
巨大地震警戒	場所により、自宅か学校か判断し、速やかに避難する。	授業を中止し、教員が生徒の安全確保と人員掌握をして、速やかに下校の態勢をとる。 臨時情報を覚知した保護者、または事前に登録された非常時引取人は、直ちに学校へ生徒を引き取りに来る。	原則、活動を中止し、安全に配慮し直ちに帰校する。その後、在校時と同様の体制をとる。

- 津波避難対象区域（事前避難対象区域）を含む町内会が校区にあるため、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたら1週間程度休校とする。学校の再開については、メールや学校ホームページ等で連絡する。

2 南海トラフ地震等の大地震発生時（震度5弱以上の地震）

状況	登校中・下校中	在校中	校外活動時	在宅時
津 波 警 報 発 令	揺れが収まった後、安全に配慮しながら、最寄りの避難ビルや高台に避難する。	全ての活動を中止し、揺れが収まった後、運動場に避難する。浸水区域に居住している、あるいは区域を通って帰宅する生徒は学校で待機する。それ以外の生徒については「発令なし」と同様の対応をとる。	活動を中止し、教員の指示で近くの避難場所に避難する。グループで活動中は、安全に配慮して近くの避難場所に避難し、大人の指示を受ける。	防災機関又は、国、県や市の指示に従い避難し、学校からの安否確認を待つ。
	揺れが収まった後、自宅又は学校に避難する。困難な場合は、最寄りの避難場所に避難し、安全を確保する。	全ての活動は中止し、揺れが収まった後、運動場に避難する。保護者はできるだけ速やかに学校へ徒歩または二輪車で出向き、生徒の引き取りをする。(引き取りのない生徒は、校地内の安全な場所で待機する。)	活動を中止し、教員の指示で近くの避難場所に避難する。安全に配慮してできるだけ速やかに帰校する。	

- 震度4以下は原則、通常通りだが、状況に応じ、メールや学校ホームページ等で連絡する。
- 地震の状況によっては電話やメール等の情報手段の使用ができません。保護者の引取りが必要な場合、主体的な情報収集と適切な状況判断をお願いします。

3 弾道ミサイル等発射に対する対応

- (1) 登校前 「自宅待機」とし、自宅で保護者の指示のもと、安全を確保する。
- (2) 登下校中 最寄りの建物に入れてもらうか、入れない場合は、建物の陰に身を伏せ、体をかがめて頭を守る。付近に建物がないときは、地面に伏せて身を守る。
- (3) 在校中 校舎内では、できるだけ窓から離れ、机の下に入るなどして体を守る。校舎外にいるときは、素早く校舎内に避難し身を守る。

卒業時まで、家庭で大切に保管してください。